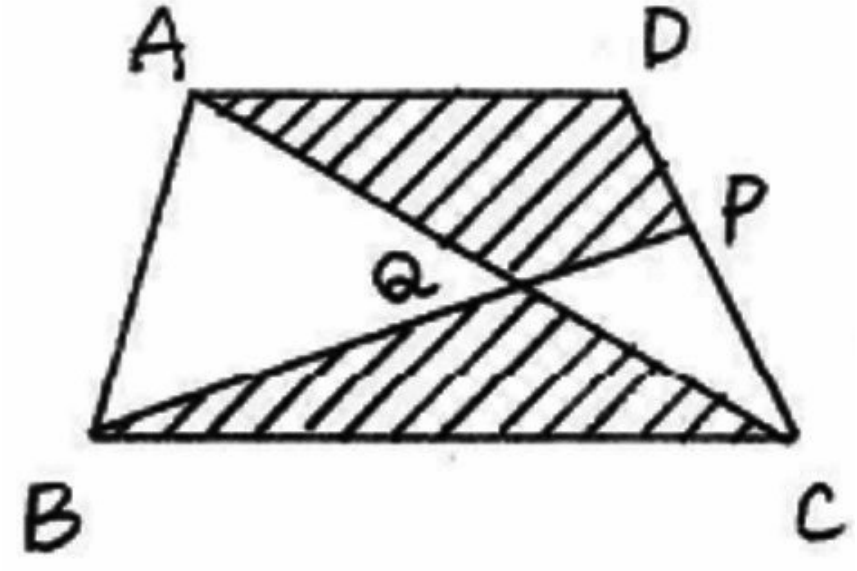
学習日：　　月　　日

2019年度　ラ・サール中学【算数】大問６

ＡＤ：ＢＣ＝５：８でＡＤとＢＣが平行な台形ＡＢＣＤにおいて、
辺ＣＤ上に点Ｐをとり、ＢＰとＡＣの交点をＱとします。
このとき、四角形ＡＱＰＤの面積と三角形ＢＣＱの面積が等しくなりました。
次の問に答えなさい。



（１）
ＣＰとＰＤの長さの比を最もかんたんな整数の比で答えなさい。

（２）
ＡＱとＱＣの長さの比を最もかんたんな整数の比で答えなさい。

（３）
三角形ＡＢＱと三角形ＣＰＱの面積の比を最もかんたんな整数の比で答えなさい。